

## 会 議 録

### 1 会議名

平成 25 年度 阿賀野市笹神地区地域審議会

### 2 開催日時

平成 26 年 2 月 6 日（木） 午前 10 時 00 分から午前 11 時 45 分まで

### 3 開催場所

阿賀野市笹神支所 4 階「委員会室 2」

### 4 出席者（傍聴者を除く。）の氏名（敬称略）

- ・出席：稲毛委員、田中委員、菊地委員、島津委員、野田委員、山口委員、久保田委員、渋谷委員
- ・欠席：荒木（裕）委員（9人中8人出席）
- ・田中市長
- ・吉野総務部長、中村民生部長、小川産業建設部長
- ・立川財政課長
- ・事務局：中野市長政策課長、苅部市長政策課長補佐、菅原企画経営係長、大澤市長政策課主事、渡辺支所長、北上副参事

### 5 議題（公開・非公開の別）

- （1）新市建設計画の進捗状況について（公開）
- （2）委員からの意見・質問事項等に対する回答について（公開）

### 6 非公開の理由

なし

### 7 傍聴者の数

なし

### 8 発言の内容

#### （1）開会（笹神支所長）

半数以上の委員の方より出席いただいておりますので、これより平成 25 年度阿賀野市笹神地区地域審議会を開催いたします。

( 2 ) 市長あいさつ

おはようございます。委員の皆さまにはお忙しい中、阿賀野市地域審議会にご出席いただき、ありがとうございます。合併から 10 年が経過しようとするにあたり、今年度が地域審議会の最終年度になりますが、これまで新市建設計画の進捗状況を中心にご意見とご協力をいただきながら街づくりと 4 地域一体となる様取り組みを進めてまいりました。本日も忌たんのない皆さまからのご意見をいただきたいと思っております。

どうかよろしくご審議のほどお願い申し上げましてごあいさつといたします。

( 3 ) 会長あいさつ

おはようございます。会長に代わりまして私の方から一言ごあいさつ申し上げます。暦の上では立春とはいうもののここ最近の冷え込みがありで、めまぐるしい気候変動となっております。

市長のあいさつにもありましたとおり、地域審議会は 10 年を経過し最後の締めくくりの年でもあります。今まで笹神地区のいろいろな問題を審議していただいたことに対し感謝申し上げます。併せて本日の審議会では、これまでの進捗状況等々に対し皆様からご審議いただき、これからの笹神地区また阿賀野市の発展のためご意見・要望等を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

( 4 ) 委員自己紹介

出席委員の自己紹介

( 5 ) 議事 ( 新市建設計画の進捗状況について )

資料に基づき、中野市長政策課長が説明。

菊地副会長： ありがとうございます。それでは、ただいまの説明につきまして、ご質問・ご意見等がある方はご発言をお願いいたします。

野田委員： 新市建設計画について 10 年が終了した後はどうなるのか、また進捗状況の中で 26 事業が未定とあるものは、今後も未定で終わるのか、中でも「着手予定なし」とあるものは、今後実施又は中止のいずれなのでしょう。

吉野部長： 新市建設計画については、合併時の協定に基づくもので当初の内容のまま 10 年を経過するものであります。合併後に新しく出てきた事業等については「総合計画」の中に掲載していますので、これと区分けして考えていただきたいと思います。

今後新市建設計画がどの様になるかという事ですが、当然市が引き継ぐことになり、大半が総合計画に含まれていますので、そちらの方で進捗管理を行っていくことになり、未定とある事業に関しては、当初少しでも実施したいと考えられるものも載せていますので、できなければというものは含まれております。従いまして市になってから精査し今のところ必要ないという事で整理していただきたいと思っております。

また今後の事ですが新市建設計画は27年度までになりますが、その後に関しては名称を「あがの戦略プラン」という事で、合併12年経過し新しい計画の基で市の街づくりを進めることになり、現在総合計画に載っていない事業についても新たに加わる事業も出てくるという事で、もう少しお待ちいただきたいと思っております。

菊地副会長： 行政改革審議会で審議された内容は、新市建設計画に反映されているのでしょうか。

吉野部長： 合併し新しいまちづくりをする経過の中には、もう少しスリムにし段々と厳しくなる財政状況に対応しようという事もありますので、当然反映させております。時代の変化に応じて事業は変わっていきませんが、ただどうしても入ってくるお金は決まっていますので、その部分である程度継続した事業で見直しが必要なものをスクラップして行かないと新しい事業には取り組めないものですから、行革審からご意見をいただき計画に反映させているという状況であります。

菊地副会長： それでは時間も限られていますので、議事を進行しその後またご意見をいただきたいと思っております。

(6) 議事2 (委員からの意見・質問事項等に対する回答について)

資料に基づき、苅部市長政策課長補佐が説明。

菊地副会長： ありがとうございます。それでは、野田さんの意見・質問のほかに、ご説明につきまして、ご質問・ご意見等がある方は、ご発言をお願いいたします。

菊地副会長： 私の方からお聞かせ願いたいのですが、次期総合計画(第7次)が市のホームページに事業額入りで掲載されておりますが、予定額なのでしょうか。

吉野部長： ホームページにありますのは第7次の実施計画で、向う3年の事業と事業費とを特定したものであります。ただあくまで向う3年ごとに計画を見直しローリ

ングを重ねていくものでありまして、次年度の計画が担保されたものかといわれますと実際は厳しいものがありますので、市の財政計画と合わせての計画であるご理解をお願いいたします。

野田委員： 私の1番目の質問で人口減少対策を挙げさせていただいたのですが、特に笹神地区の人口減少は深刻な状況であります。市長の年度当初のあいさつの中で「虹の架け橋事業」がありましたが、京ヶ瀬地区の事業なのでしょうか。

田中市長： この事業については、若者が市内に入って来て定住していただくよう住宅建設に対する補助で住宅取得支援制度であります。

菊地副会長： せっかくの機会でありますので、今ほど出ました「虹の架け橋事業」のほか市長のお考えを聞かせていただきたいと思えます

田中市長： 今ほどの「虹の架け橋住宅取得支援制度」については、阿賀野市内に新たに住宅を新築する方に最大50万円を補助させていただく制度です。

人口減少についての一番の原因は、社会減と自然減がありますが、若い方々が子どもを育てやすい環境を作れば、おのずと若い人たちが市内に定住してくれると思われれます。また現在住んでいる若いお母さん方についても安心して働きながら子どもを育てられる環境をつくれれば、子どもの数も増えてくるだろうという事で「子育て環境日本一」を掲げさせていただき、教育も含めた子育て支援をしっかりと行っていく取り組みを進めております。

もう一つ、自然減の中で高齢者の方々が出生数を上回って毎年亡くなられていて人口減少の要因になっています。その面で健康づくりとしていつまでも人の手を借りることなく、最後まで生き生きと活動し生活を送れるようにと「健康寿命日本一」を掲げさせていただき、健康づくりに精いっぱい取り組んでいます。という事で人口減を少しでも食い止める取り組みを行っているところです。

これは人口が減れば生産労働人口も減り、次いで税収も減る、財政に大きな影響が出ることにより市民サービスの低下や地域の活力が失われることになることから非常に危惧していることでもあります。したがって、住宅支援は市外から定住していただく取り組みとして多くの自治体で行っていますし、あるいは保育料の無料化についても同様であります。

何よりも阿賀野市では2本の柱「子育て環境日本一」と「健康寿命日本一」を掲げさせていただき、市民の皆さんを支えながら取り組みを進めていきたいと思えます。

菊地副会長： 笹神地区の人口減少についての数字的なものが分かれば教えていただきたい。

吉野部長： 阿賀野市全体の数字ですが毎年400人くらい減少しています。

山口委員： 当山崎集落でも結婚しない人が10人くらいいますが、人口減少の一因でもある。

菊地副会長： 未婚男性・女性の人数も問題ですが、最近は各集落で空き家が増加している状況にあり、若い人が結婚しても都会に移り住むことにより過疎化が危惧されるところですが、何より未婚者が増加している状況が問題ですので、未婚者対策として何とか出会いの場の提供等ができないものでしょうか。

中野市長政策課長： 今ほどの未婚者の数字ですが、25歳以上50歳未満の方が平成22年では4,165人でしたが平成25年では4,630人と約465人増えておりますし、その中でも女性の未婚割合が増加している状況です。

稲毛委員： 出会いの場がないという意見が出ましたが、農業を行っている若い人が自分たちの仲間を集めて婚活農作業という事で田植え・草取り・稲刈りを行い2～3組のカップルが誕生しています。リーダー育成や人材育成を含めて当JAでは今後も事業展開を考えているところです。

菊地副会長： 人口減少から婚活までの話になりましたが、ほかにご意見ありますでしょうか。

島津委員： 最近結構耳にしますが阿賀野市は財政的に大丈夫なのかという事です。ただそうは言っていますが意外と阿賀野市に対して関心がない、自分たちの生活が良ければそれでいい、ある意味投げ出してしまっている人たちも今現在非常に多いのは残念に思われます。私は、阿賀野市に生まれ育ってきて、何とか活性化して良いまちになってほしいと思いますが、よそからお嫁に来た人は将来に向けて財源的には大丈夫なのか心配しています。それと関連して高齢化がどんどん進んでいる中で自分たちが高齢になった時に果たして、どのような生活を送るのか危惧しています。

市役所では計画的に行っていることは十分承知はしておりますが、将来に向けて安心して子育てができて老後も暮らせるという事が情報として伝わってこない状況から、市民の人たちにもっと分かりやすく、こういう将来性があり、こうな

って行きますよと説明し、市民から関心を持っていただくような方法を取っていただきたい。

また自分たちの地域を思うと、これだけの老人や独居者が居るという事を考えると、市だけに頼る問題ではなくどうやったら地域に関わっていけば良いのか、前向きに元気になろうとする力が、今現在の財政力が厳しい状況の中で、若い人たちが頑張れるようなことを見出していただけたら、希望を持ちながら前に進めるように思います。

そこで経済的な面とか具体的な方向性というものを示していただき、皆でその方向に向かいましょうという情報源が現在ほしいと思います。

田中市長： 島津委員さんが言われた事が今の状況だと思います。そういったことで市の発信力が少し弱く、今現在市がどういう取り組みをしているのか、その部分が市民の皆さんに見えていないと思われれます。今言われた課題はすべて頭に入れており、その課題解決に向けて、市民が安心して暮らせるようなまちに向けた取り組みを行っています。

今「行政施策の見える化」を進めていまして、簡単にいえば何を・いつまで・どうするのかという形でハッキリと施策項目ごとに見えるようにする、そうすることで我々の施策・取り組みが充実していると思っておりますが、それが市民に伝わっていないと「不安になる・将来どうなるだろう」という事だと思っておりますので、今後はできるだけ早く情報発信し我々の取り組みを「広報あがの」を通じて伝えていきたいと思っております。とにかく安心して暮らせる街なので、将来に向け希望の持てる明るく元気で活力のある魅力的な街を目指して頑張っておりますのでよろしくお願いいたします。

菊地副会長： 市長から建設的なこれから希望の持てるようなコメントをいただき大変ありがとうございました。先程、島津委員からもありましたが、現実財政が大丈夫であるという事を安心感も含め財政担当者から話をしていただきたいと思っております。

立川財政課長： どこの市町村でもお金がないのは普通だと思います。有るところもありますが阿賀野市は交付税に頼っているところが多い訳です、ただ毎年財政的な計画を立てておりますのでその点は心配ありませんので、安心していただきたいと思っております。

菊地副会長： 笹神地区が最後の日程ですが、せっくなので他の地区の意見等どのような物の物が有ったのか簡単に報告願います。

吉野部長： 水原・安田・京ヶ瀬地区の意見等内容を説明。

菊地副会長： 本日まだ発言のない委員の方から一言ずつお願いいたします。

渋谷委員： 市長から施策の中でできることできない事がありましたらお聞かせいただきたい。

田中市長： 先程から話がありました、人口が減少すればこの地域の活力が失われることは誰でも分かっていることですが、それを食い止めることはなかなか難しいことです。安倍政権が言っているところの女性の社会進出を後押しする、生産労働人口に占める女性の割合を高めることが大切と言っています、ですから男女共同参画社会を作る取り組みを進めているところです。とにかく働きながら子育てや家事をし、場合によっては介護まで行っている方もいます。そうになると負担が非常に大きくて、新たにお子さんを作り社会参加しようとしても、会社勤めができない状況であれば市にとってもマイナスな状況になりますので、女性の社会参加・社会進出を後押しし、男女共同参画社会を実現する取り組みを行っています。

また単身高齢の方と高齢者のみの世帯が右肩上がり伸びていて、今後これをだれが見守って行くのが大きな課題であると思われます。そういったことから医療や福祉の取り組みとしては、地域医療を再生するために水原郷病院を27年開院に向け新しく建設しますし、福祉の面では高齢者の皆様を世話する人が居ない方々へは入所できる施設について、介護計画を見直し増床させていただき取り組みを考えています。

地域が安心して暮らせるよう災害日本列島ですのでいつ大きな被害が来るかわかりません。そういった面で安心して暮らせるような情報を速やかに皆さま方に伝えられるように防災行政無線を設置させていただきことにしています。

教育関係では、経済状況が困難な世帯への就学支援・奨学金制度を拡充するとともに、今年度からは今まで無かった入学する際の準備金を新設させていただきました。そのようなことで街が子どもを育てるつもりで積極的に予算を充てていきたいと思っています。

久保田委員： 笹神地区は環境が良く自然が豊富にもかかわらずアピールが下手。

田中委員： 私も市長が言った健康寿命を延ばすことが大切だと思っています。市ではこの健康寿命を延ばす取り組みや介護予防の取り組み等の対策をどうしていくかお聞きします。

田中市長： ご存じのとおり健康四要素は食と運動と生きがいと健康診断といわれていますが、食の改善も常日頃から生活習慣病を予防するため、子どもたちも栄養が豊かになって血圧も高まっておりますが、保健師は一生懸命取り組みを進めています。

もう一つ運動については、水中運動等積極的に進めています、これは何よりも引きこもる高齢者がいないさまよう、外に出歩く健康ウォーキングなどに向けて取り組んでいます。

生きがいとしての生涯学習・生涯スポーツを通しながら目的を持っていただく、2月の広報あがのでも書かせていただきましたが、高齢になっても地域活動や社会活動を通して社会貢献することで外へ出ていただいて有意義な生活を送っていただければ、それが生きがいになり健康につながると考えています。

それから健診ですけど阿賀野市ではがん検診率・特定検診率が低い状態です、これを上げる取り組みを強化しています。

大きく言えばこの四要素の取り組みを進めることにより、健康な人を一人でも多くしていくことがもっかの課題として強化しているところです。保健師さんの数も昨年2人増やしましたし、専門家集団の強化をするなど、今後もいろいろと考え実行していきますのでよろしくお願いいたします。

野田委員： 次期総合計画の中で人づくり若者の人材育成を考えると色々ありますが、流出しない人材育成の施策として、特に実行計画の中に地域づくり・阿賀野市づくりとしてうたっていたきたいと思います。

菊地副会長： ありがとうございます。合併して今までは物的インフラ整備でしたが、これからは人材育成を含め人的インフラ整備が必要になると思われます、そうすることで市の発展につながるとわれます。

時間が来ましたので、本日の議事は終了とさせていただきます。司会を事務局にお返しいたします。

#### (7) 閉会 (吉野総務部長)

最後にごあいさつ申し上げます。冒頭申し上げましたが、阿賀野市地域審議会は時限ということで今年度末をもって閉会させていただくこととなります。これまで、新しい阿賀野市のために皆さまよりご意見をいただき大変ありがとうございました。他の合併市町村と異なり、各地区で引っ張り合うこともなく、円滑に運営することができました。これから正念場になりますが、10年間皆さまに大変お世話になりました。設置期間満了ということで今回をもって地域審議会を終了させていただきます。あり

ありがとうございました。

9 問い合わせ先

総務部市長政策課企画経営係

: 0250-62-2510 (内線 263)

E-mail : [shichoseisaku@city.agano.niigata.jp](mailto:shichoseisaku@city.agano.niigata.jp)